

# 静岡市立番町小学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和3年9月2日（木）

## 「縄文時代や弥生時代を五感で感じよう。」

### をテーマに体験しました！

縄文時代や弥生時代の人々の暮らしを、資料や映像だけでなく、実際に体験することで、古代人の知恵や工夫を感じ取ることがねらいでした。土器の分類体験・石器の試し切り体験・火起こし体験の3つの体験を行ない、本物に触れ、より一層興味や関心を高め、進化の過程を考えることができたと思います。

#### ◎石器の試し切り体験

打製石器や磨製石器、黒曜石の話聞いた後、ニンジンやキャベツなどの野菜くずを黒曜石で試し切りし、堅い野菜も切れ味鋭く切れることに驚くとともに、どこでも採れるわけではない貴重な黒曜石の必要性を感じていました。終わった後、黒曜石がお土産としてもらえることを知ると、とても喜んでいました。



#### ◎土器の分類体験

縄文土器・弥生土器・須恵器の違いについて話を聞いた後、実際に出土した完成土器を手に取り、重さや質感、模様などをよく観察し、比べながら土器片进行分类していました。土器片の一部分に興味を示す子どももいて、研究者的な視点をもって分類していて感心しました。



#### ◎火起こし体験

運動場からの風が強く、火種が飛ばされないか不安を感じながらのデモンストレーションとなりました。本当に火が起きるのに興味津々の子どもたちでしたが、なんとか火を起こすことができ、火が起きたときには歓声が沸きました。次は自分たちが弾み車を回す番です。リズムよく回したいところですが、肩や腕に力が入りすぎて、なかなか調子よく回らなくて苦労しながら回していました。ようやく火種ができると、やさしくスプーンですくい火口にのせ、煙が目にしめないように風下に向かって息を吹きかけていると、「フーフータイムを途中であきらめないで。」と担任の先生が助言し、子どもたちはその通りに頑張っていました。やっとのことで火が起きたときには、とてもうれしそうにしている、いつまでも缶の中の火をながめている子もいました。

